

2020年6月期 通期

決算説明補足資料

～中期経営計画について～

当社は2019/7～2022/6の中期経営計画を策定しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延による事業環境の大きな変化を踏まえて、3カ年の期間中ではありますが、中期経営計画の見直しを行います。

2020年8月7日においては2021年6月期の通期予想を発表し、中期経営計画については2020年8月21日の発表を予定しております。

株式会社 ビーネックスグループ

2020年8月7日

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

- 新型コロナウイルスで国内事業の稼働率、稼働時間等の低下を受け4Qは前年同期比減収減益
なお国内社員に新型コロナウイルス支援で一律3万円の特別手当支給（約3.2億円分の原価・販管費増）
- 通期では、4Q業績の影響が大きく、売上高は前期並み。利益は減少

5月の業績予想下方修正対比：売上高 ▲4.5億円 営業利益 +1.7億円 EBITDA +2.6億円

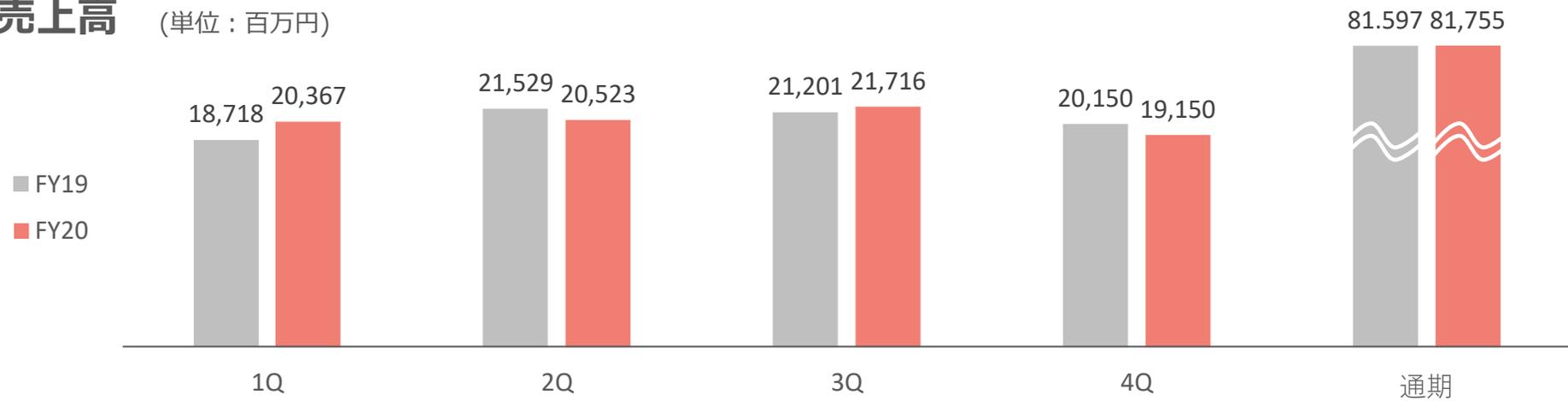
単位：百万円	Q4			通期				
	FY19	FY20	YoY	FY19	FY20	FY20予想	YoY	予想比
売上高	20,149	19,150	▲5.0%	81,596	81,755	82,200	+0.2%	▲0.5%
売上総利益	4,035	3,049	▲24.4%	16,891	15,808	-	▲6.4%	-
利益率	20.0%	15.9%	-	20.7%	19.3%	-	-	-
販管費	2,790	2,566	▲8.0%	11,196	11,142	-	▲0.5%	-
販管费率	13.8%	13.4%	-	13.7%	13.6%	-	-	-
営業利益	1,245	482	▲61.3%	5,694	4,666	4,500	▲18.1%	+3.7%
利益率	6.2%	2.5%	-	7.0%	5.7%	5.5%	-	-
EBITDA	1,559	707	▲54.7%	6,843	5,855	5,600	▲14.4%	+4.6%
利益率	7.7%	3.7%	-	8.4%	7.2%	6.8%	-	-
当期純利益	780	277	▲64.5%	3,692	1,335	1,200	▲63.8%	+12.4%
利益率	3.9%	1.4%	-	4.5%	1.6%	1.5%	-	-

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

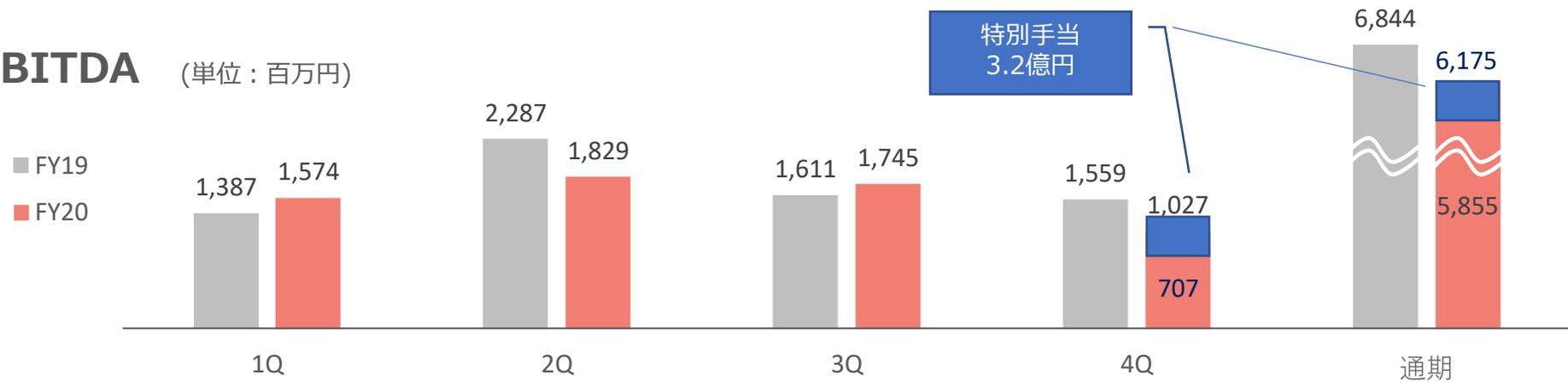
連結 四半期推移

- 売上高：第4四半期では前期比・前四半期比でマイナス（YoY▲5.0%、QoQ▲11.8%）
- EBITDA：第4四半期に底打ちの見通し

売上高 (単位：百万円)



EBITDA (単位：百万円)



利益率	FY19	1Q	2Q	3Q	4Q	通期
	FY20	7.7%	7.4%	10.6%	7.6%	3.7%(5.4%)

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

- 技術系領域は新型コロナウイルスの影響を受け、休業要請や残業時間の削減等を受け、一人当たりの売上は低下するも、年間での社員増が貢献し、前年同期比でプラス成長を維持
- 製造系領域は国内製造業の生産調整が強く影響し、4Qは大幅減収(YoY ▲19.8%)
- 海外領域の英国事業は3ヵ月遅延で連結のため新型コロナウイルスの影響は軽微(現地3月まで)

単位：百万円	4Q				通期			
	FY19	FY20	増減	YoY	FY19	FY20	増減	YoY
技術系領域	10,537	11,030	+493	+4.7%	40,439	43,886	+3,447	+8.5%
製造系領域	2,500	2,005	▲495	▲19.8%	9,955	9,021	▲934	▲9.4%
海外領域	7,110	6,113	▲997	▲14.0%	31,198	28,845	▲2,353	▲7.5%
UK事業(百万£)	48.8	43.5	▲5.3	▲10.9%	213.8	208.5	▲5.3	▲2.5%
その他	0	0	+0	-	3	1	▲2	▲66.7%
合計	20,149	19,150	▲999	▲5.0%	81,596	81,755	+159	+0.2%

※ 期中平均為替レート：(FY19 4Q) 1 GBP= 145.71円、(FY20 4Q) 1 GBP= 138.15円

セグメント別 EBITDA

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用



- 4Qに国内の全社員に特別手当を支給(技術系は2.5億円、製造系は0.7億円)
- 技術系領域は4Qの休業要請や残業時間の減少に稼働率悪化が利益にも影響し、通期で減益
- 製造系領域は4Qに大幅減収になったことで4Q単独では赤字 通期で減益
- 海外領域の英国事業は現地通貨ベースで前期並み

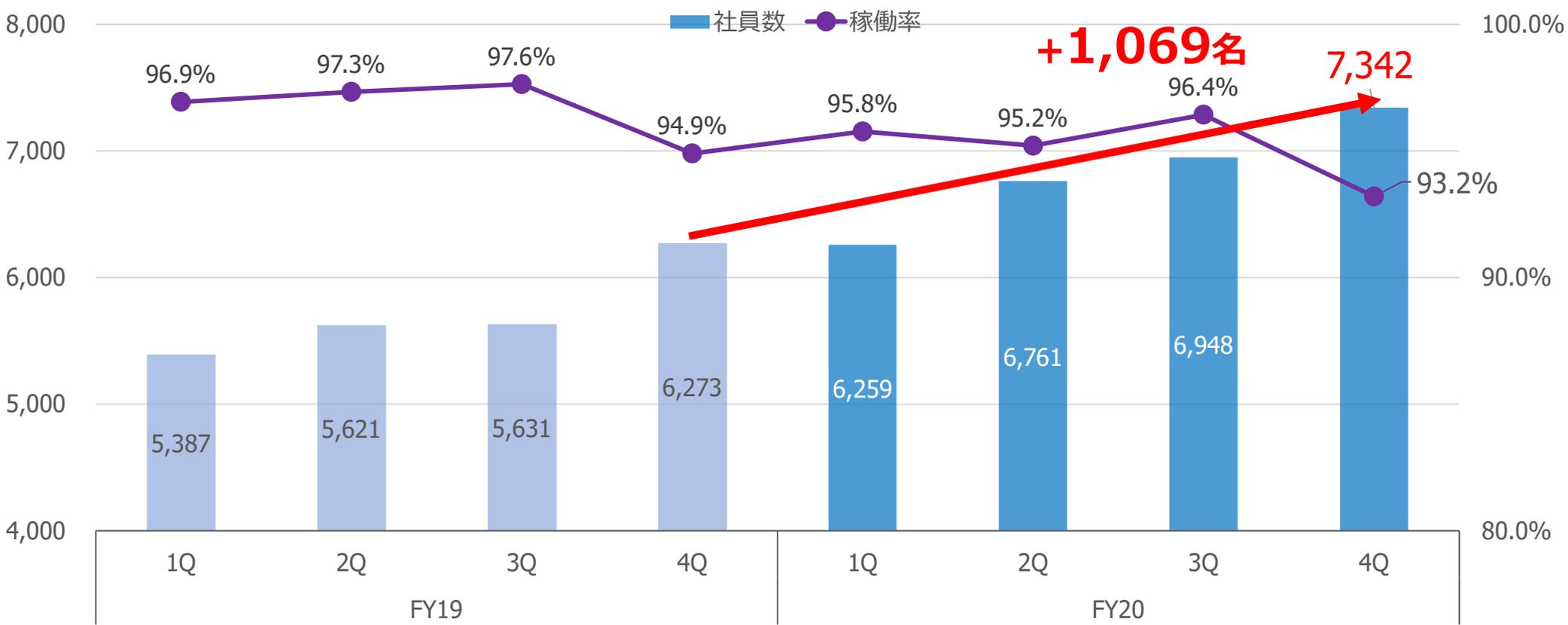
単位：百万円	4Q				通期			
	FY19	FY20	増減	YoY	FY19	FY20	増減	YoY
技術系領域	1,255	834	▲421	▲33.5%	5,506	5,169	▲337	▲6.1%
利益率	11.9%	7.6%	-4.3pt	-	13.6%	11.8%	▲1.8pt	-
製造系領域	191	▲85	▲276	▲144.5%	561	182	▲379	▲67.6%
利益率	7.6%	▲4.2%	-11.9pt	-	5.6%	2.0%	▲3.6pt	-
海外領域	147	188	+41	+27.7%	878	818	▲60	▲6.8%
利益率	2.1%	3.1%	-0.4pt	-	2.8%	2.8%	+0.0pt	-
UK事業(百万£)	0.9	0.7	▲0.2	▲22.2%	5.6	5.6	+0.0	+0.0%
その他/調整	▲35	▲143	▲108	-	▲103	▲315	▲212	-
合計	1,559	707	▲852	▲54.7%	6,843	5,855	▲988	▲14.4%
利益率	7.7%	3.7%	-4.0pt	-	8.4%	7.2%	-1.2pt	-

※ 期中平均為替レート：(FY19 4Q) 1 GBP= 145.71円、(FY20 4Q) 1 GBP= 138.15円

技術系領域

技術系領域 社員数・稼働率

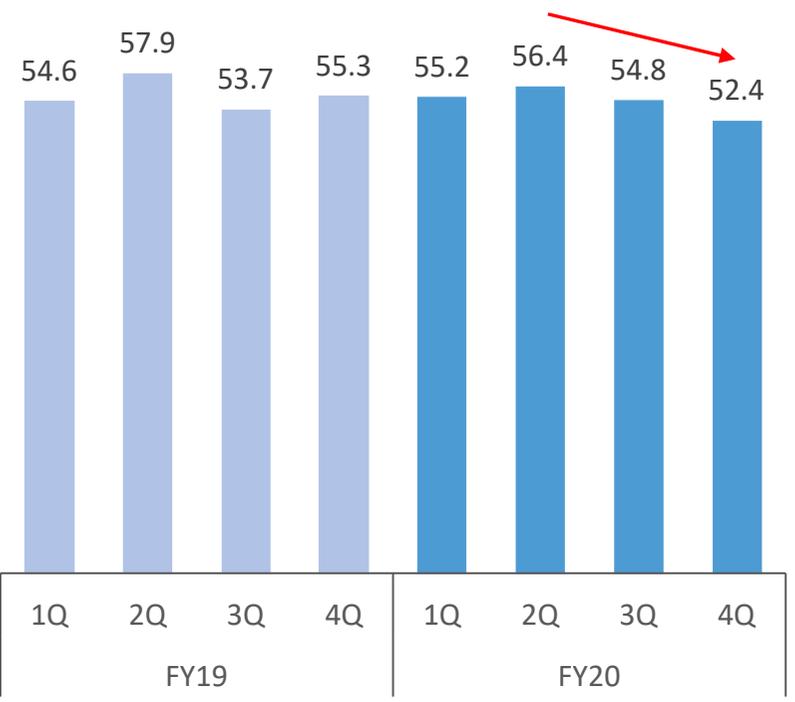
- 中途採用やM&A、新卒者590名の入社により社員数は7,300名を超える (YoY+1,069名)
- 4Qは新卒者の入社およびコロナ禍での休業要請等により稼働率が低下
環境を考慮すると稼働率93.2%は奮闘



技術系領域 稼働日数・残業時間

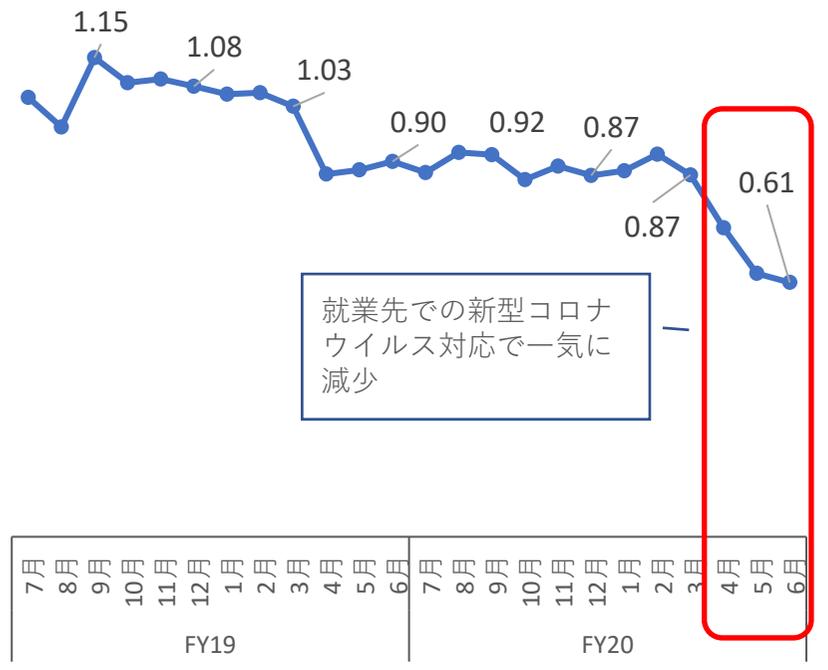
- 本来、稼働日数が高くなる4Q（4-6月）だが、コロナ禍の休業要請等により四半期比で減少
 4 Qの稼働日数：YoY ▲2.9日、QoQ ▲2.4日
- 残業時間は働き方改革に加え、コロナ禍の就業時間のコントロールで大幅に減少

稼働日数



残業時間

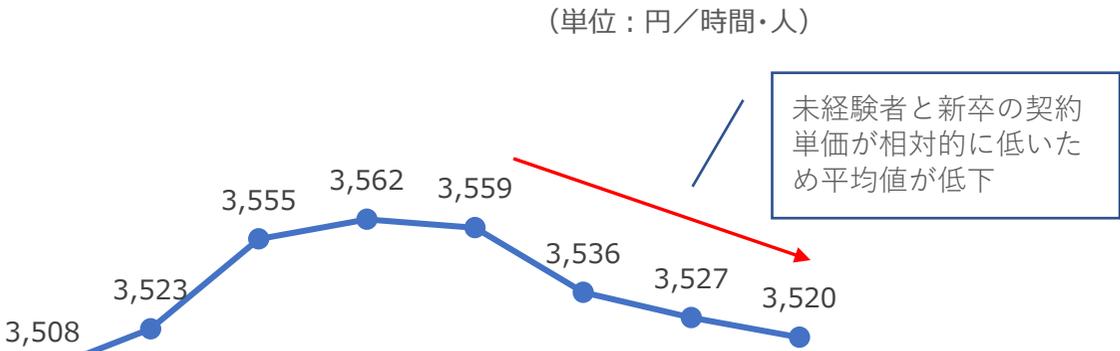
(単位：時間/日・人)



技術系領域 契約単価

- 契約単価は全体平均においては微減 (YoY ▲42円、QoQ ▲7円)
- 既存社員の単価は上昇基調だが、未経験者・新卒者の増員が平均単価を押し下げる

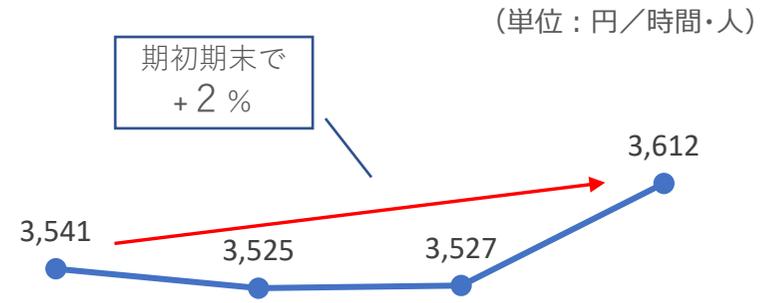
契約単価 (全体)



FY19 1Q FY19 2Q FY19 3Q FY19 4Q FY20 1Q FY20 2Q FY20 3Q FY20 4Q

※ 請負売上は含みません

契約単価 (1年以上の社員)

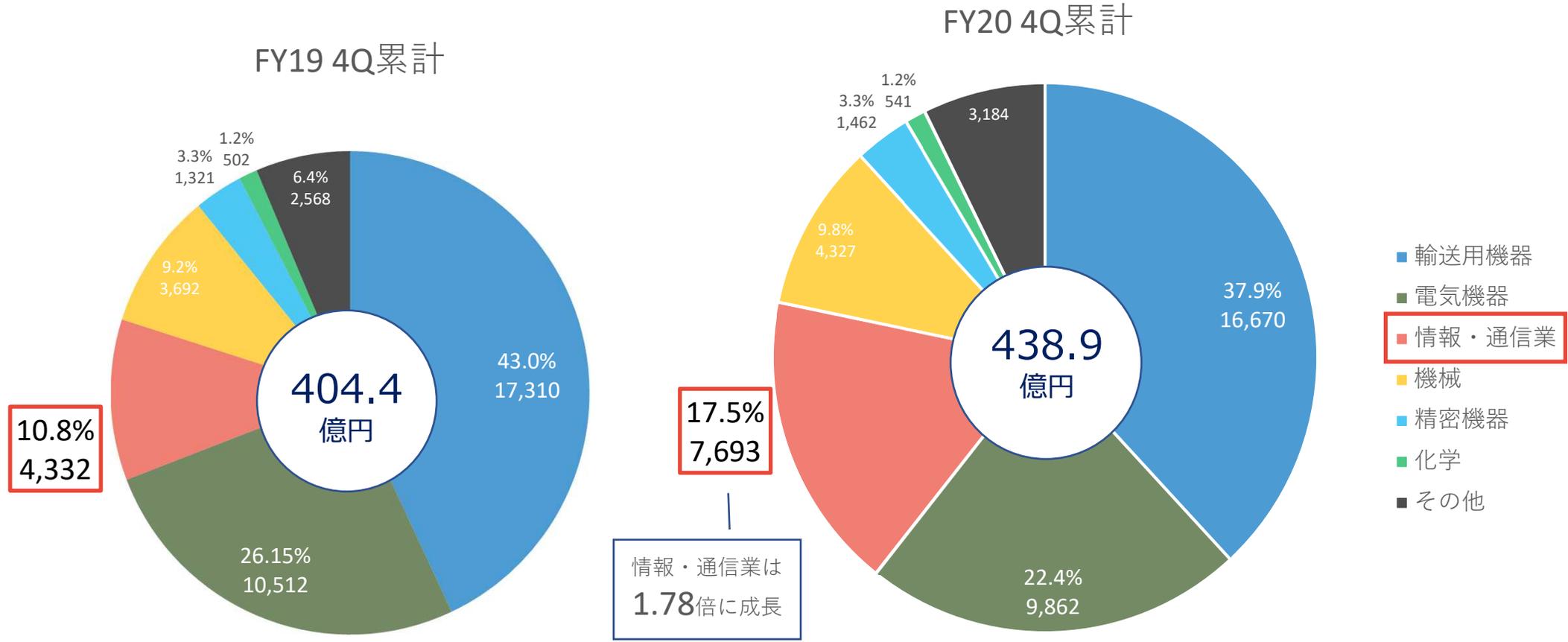


FY20 1Q FY20 2Q FY20 3Q FY20 4Q

※ 請負売上は含みません

技術系領域 業種別売上高

- 顧客企業の業種分類では、景況やコロナ禍で売上高が減少する業種が生じるなか
情報・通信業（ITソフト）が成長しシェアが17.5%に拡大
- 輸送用機器の中でもITソフトウェアの開発の業務が拡大している



製造系領域

製造系領域 社員数・稼働日数

- 新型コロナウイルス感染拡大による就業の制限や生産調整の影響は技術系領域より大きい
- 社員数：YoY ▲280、QoQ ▲208
- 稼働日数：YoY ▲5.2日、QoQ ▲4.7日

社員数



稼働日数



製造系領域 契約単価

- 契約単価：同一労働同一賃金に対する賃金交渉もあり、4 Qは契約単価が上昇
- 一人あたり派遣売上高：コロナ禍で稼働日数等減少により4月・5月は下落し、その後は回復途上

契約単価（全体）

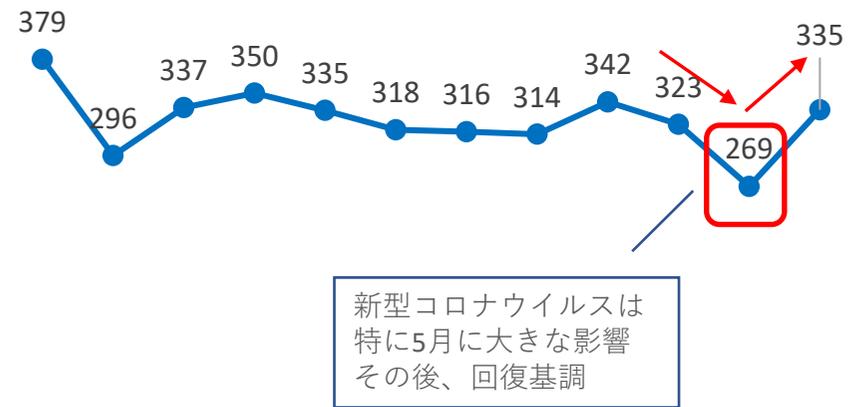
(単位：円/時間・人)



FY19 1Q FY19 2Q FY19 3Q FY19 4Q FY20 1Q FY20 2Q FY20 3Q FY20 4Q

一人あたり派遣売上高

(単位：千円/月)

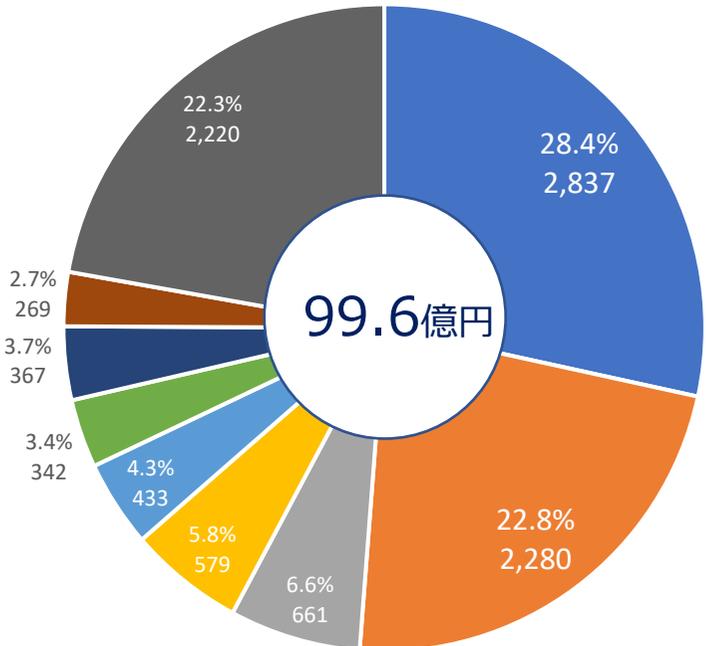


7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 4月 5月 6月

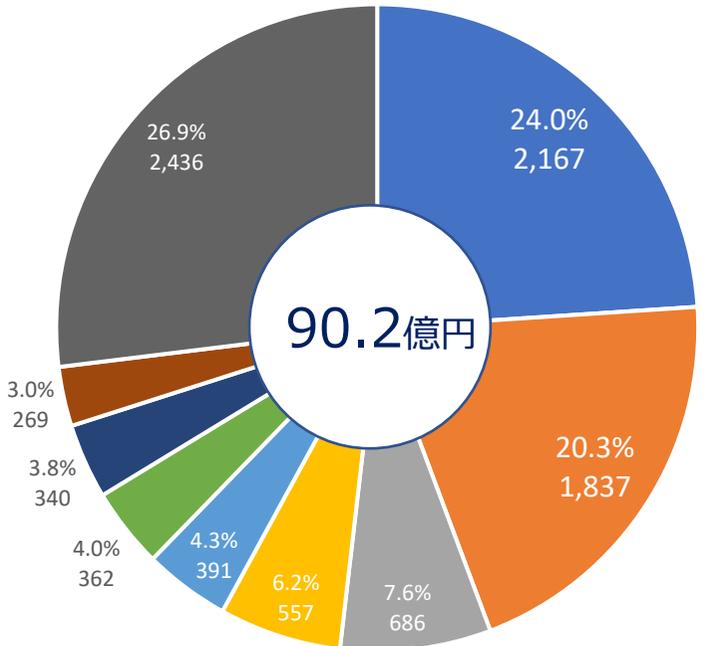
※ 請負売上は含みません

■ 幅広い業界に顧客が分散化し、特定顧客企業への依存はない

FY19 4Q累計



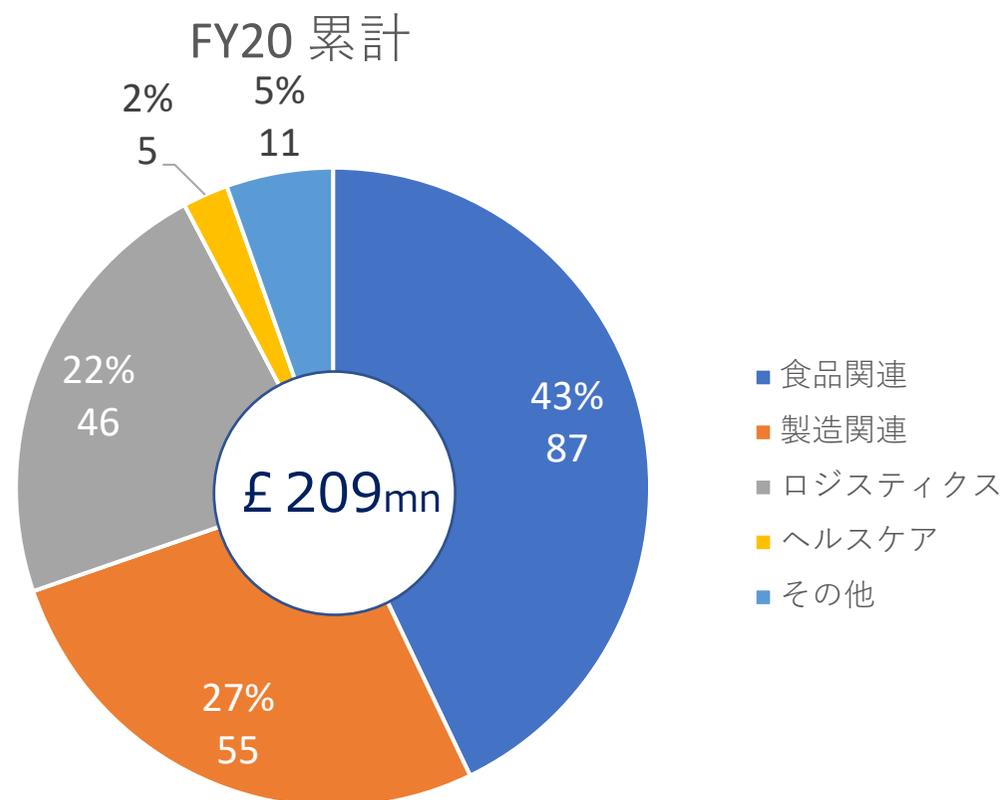
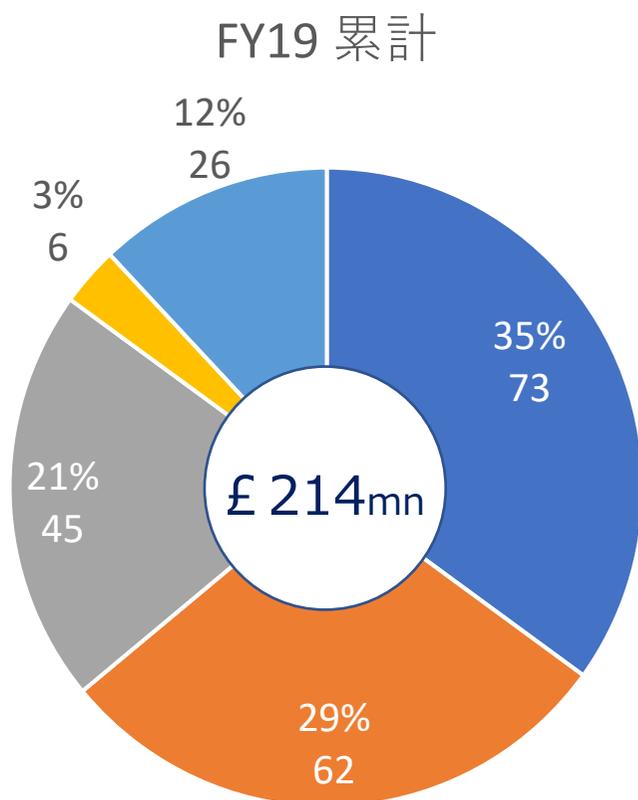
FY20 4Q累計



- 輸送用機器
- 機械
- 電気機器
- 印刷関連
- 建材・住宅
- 化学
- 食料品
- 倉庫・運輸
- その他

海外領域

- 食品とロジスティクスといった内需比率が高く、景況の影響を受けにくい売上構成
- 新型コロナウイルスによる業績低下(4月以降)の影響は、2021年6月期の1Qより反映される



- 食品関連
- 製造関連
- ロジスティクス
- ヘルスケア
- その他

I 連結業績

II セグメント業績

III 業績・配当予想

当社は2019/7～2022/6の中期経営計画を策定しておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延による事業環境の大きな変化を踏まえて、3カ年の期間中ではありますが、中期経営計画の見直しを行います。

2020年8月7日においては2021年6月期の通期予想を発表し、中期経営計画については2020年8月21日の発表を予定しております。

- **売上高は2021年6月期で減収となるが、各利益は増益に転じる
特に、当期純利益は大幅増益**

技術系領域の増収増益 半期毎での成長を引き続き継続

- 技術系領域の拡大により、来期以降の成長余地が一層高まる

連結での減収は海外事業の短期的な落ち込み

- 英国のロックダウンが期初から影響し、連結での減収要因となる
- 利益率は低下するも通期で利益を確保 2021年6月期はボトム

業績予想 連結

- 売上高は前期比40億円減
うち海外が54億円減ながら、利益率の高い技術系領域は19億円の増収を見込む
- 当期純利益は大幅増益 前期比14億円増
- 新型コロナウイルスの影響 上期は現状の横引き 下期から緩やかな回復
エンジニアニーズは総じて低下しておらず、下期には稼働回復が早い企業が出てくると想定される

単位：百万円	通期		
	FY20	FY21	YoY
売上高	81,755	77,800	▲4.8%
営業利益	4,666	4,800	+2.9%
利益率	5.7%	6.2%	-
EBITDA	5,855	6,000	+2.5%
利益率	7.2%	7.7%	-
当期純利益	1,336	2,700	+102.2%
利益率	1.6%	3.6%	-

通期	上期		
	FY20	FY21	YoY
	40,889	37,378	▲8.6%
	2,741	1,831	▲33.2%
	6.7%	4.9%	-
	3,403	2,430	▲28.6%
	8.3%	6.6%	-
	1,648	981	▲40.5%
	4.0%	2.8%	-

※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

上期は、前年度実績を下回るが、稼働率の回復で利益率は期の後半に向けて回復上昇

業績予想 セグメント

- 技術系領域：増収増益を見込む
半期毎の売上高は徐々に伸長し、利益において前期比20%超の改善
- 製造系領域：減収増益を見込む 業容の拡大においては売上高より利益率の改善を優先
- 海外領域：上期に英国ロックダウン影響で大幅減収 現地の年明け以降(4Q)に回復を想定

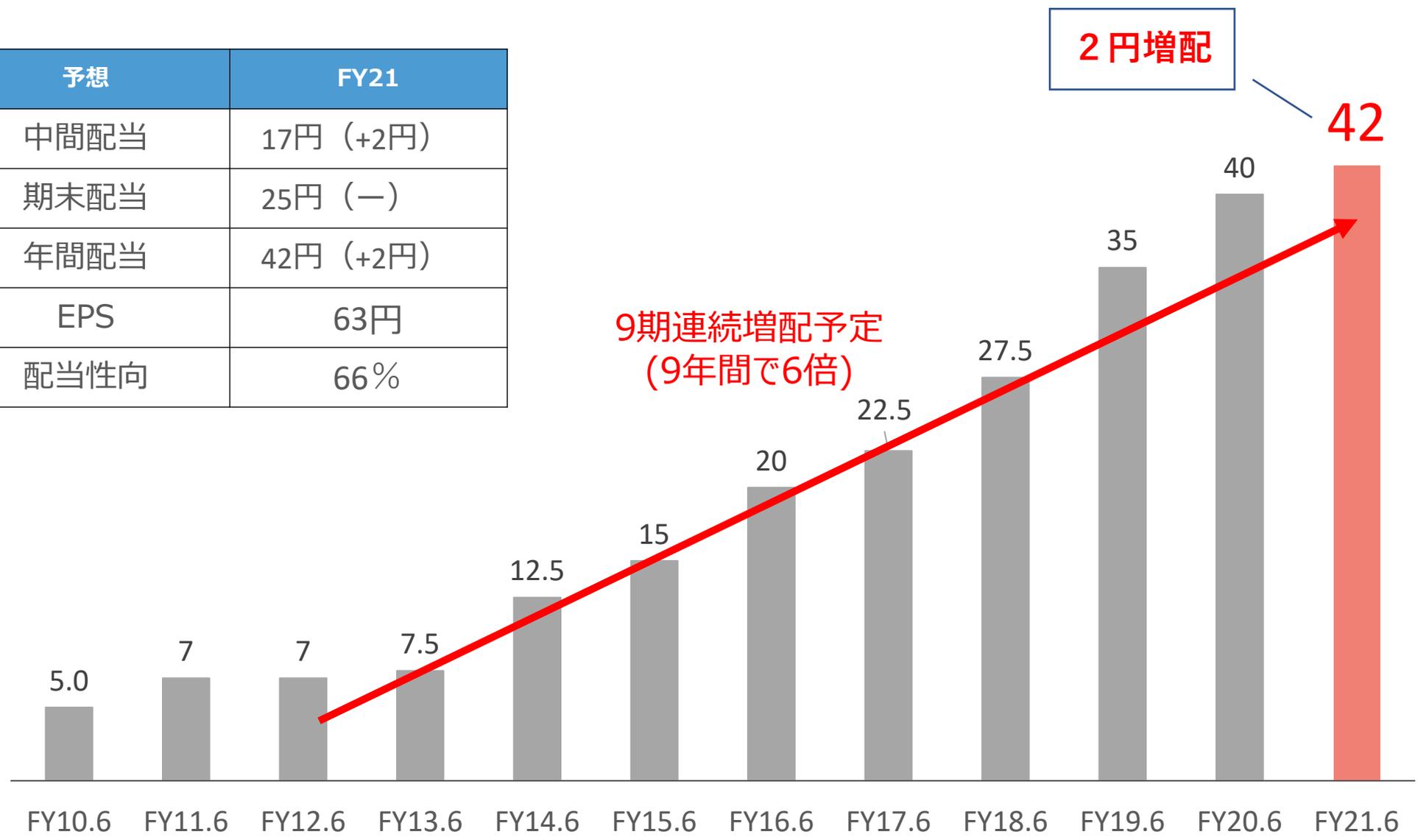
単位：百万円		FY20			FY21			増減	YoY
		上期	下期	通期	上期	下期	通期		
売上高	技術	21,551	22,336	43,886	22,357	23,428	45,784	+1,898	+4.3%
	製造	4,779	4,243	9,022	4,135	4,366	8,500	▲522	▲5.8%
	海外	14,565	14,281	28,845	10,879	12,590	23,469	▲5,376	▲18.6%
	その他/調整	▲5	7	2	8	39	47	+45	+2665.0%
営業利益	技術	2,501	2,017	4,518	2,347	3,273	5,621	+1,103	+24.4%
	製造	183	▲20	163	127	256	383	+220	+135.1%
	海外	141	157	298	▲30	71	41	▲257	▲86.3%
	その他/調整	▲83	▲230	▲313	▲613	▲631	▲1,244	▲931	-
EBITDA	技術	2,813	2,356	5,169	2,668	3,594	6,262	+1,063	+20.4%
	製造	191	▲9	182	137	266	402	+220	+120.5%
	海外	481	337	818	208	310	518	▲389	▲42.9%
	その他/調整	▲82	▲233	▲315	▲583	▲599	▲1,182	▲872	-

※ 売上高は外部顧客に対する売上高です（内部売上は含まない）
 ※ 期中平均為替レート（FY21）：130.00円
 ※ 持株会社体制移行によりFY21から本社費用が「技術系」から「その他/調整」項目に振り替わるため利益率が若干上昇
 ※ EBITDA = 営業利益 + のれん償却 + 減価償却費 + 買収一時費用

配当予想

■ 株主還元を引き続き強化 年間で2円の増配 (+5%)

予想	FY21
中間配当	17円 (+2円)
期末配当	25円 (—)
年間配当	42円 (+2円)
EPS	63円
配当性向	66%



免責事項

本資料は、当社の事業説明の提供を目的としており、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料に記載された推測や予測等は、本資料作成時点における当社の判断であり、情報の正確性を保証するものではありません。また、今後、予告なしに変更される場合があります。

万が一この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いませんので、ご承知ください。

(お問い合わせ先) 株式会社ビーネックスグループ IR室
TEL : 03-5777-7727 E-mail : ir-bnt@benext.jp